

高小コミスクだより

3年生「高松の昔を調べよう」

10月18日と21日に地域の方々にご協力をいただき、総合的な学習の時間に高松の昔の様子を教えていただきました。荒木さん、竹中さん、池田さん、鶴見さん、東谷さん、岡田さん、真田さん、喜多さん、丸岡さん、森さん、水上さんに、昔の学習・行事や給食の様子、建物の様子、神社や祭りの様子、商店街や駅の様子などを話していただきました。子どもたちは、書物では調べきれないことを教えていただき、今と昔の違いをより理解することができました。



地域の皆様、ありがとうございました。

<子どもたちの感想>

- 昔の学校では、内履きは、草履だったことや、休み時間にお手玉やおはじきで遊んでいたことに、驚きました。
- 昔、高松に大火事が2回もあったと聞いて、びっくりしました。それを忘れないために、赤飯を配るようになったことを、みんなに伝えたいと思いました。
- 昔の学校の場所や昔の学校の地図を描いていただいて、よく分かりました。
- 遠足やマラソンのことが分かりました。遠足で学校の山に、芋を持って行ったと分かりました。
- 商店街の昔のことを教えてもらい、珍しいお店や人気のお店がよく分かりました。
- サッサイは、今年で百年目になったことを一番伝えたいと思いました。
- 獅子舞・御神輿のことを教えてもらい、天狗が逃げて獅子舞が追いかけることも分かり、驚きました。
- 高松駅の昔は、木造でできていたとか、車両が10両もあって、ホームからはみ出していたということが分かりました。